

日本パーキンソン病・運動障害疾患学会（MDSJ）
第8回PDナース研修会 in 高松
テーマ「PD医療・ケアの主戦場は在宅と外来にあり」

超高齢社会を迎えパーキンソン病患者も高齢化しています。このことは今まだ医療・介護関係者、そして患者家族が想像だにしなかった、そして未解決な多くの問題点にPDの医療・ケアにあたる人たちは直面しています。

PDは動作緩慢・歩行障害等の運動症状を主症状としますが、気分障害、消化器症状、疲労、痛みなど非運動症状が加わります。レボドパの治療はPD患者に必須ですが、運動合併症（ウェアリングオフ、ジスキネジア）はさらなるQOL低下を招くため、細やかな薬物療法や手術治療、更には、それ以上に精神的ケアと療養生活指導が重要となります。

英国ではPDケア、マネジメントの専門家として”PD Nurse Specialist”の資格があり、他の国では”Nurse Practitioner”と呼ぶ資格を得て活動していますが、日本ではPD患者看護を専門とするPDナースの資格はありません。MDSJでは、PDの疾患、病態、治療に精通した専門職（たとえば看護師）の育成を目指し、PDナース研修会を全国で開催してきました。今回が8回目の研修会開催となり、四国では初めてとなります。PDの症状、診断、治療に関する幅広い基礎知識を習得し、患者の事例検討による実践的対応を学ぶことで、日常の患者のケア・マネジメントに直ぐに生かせる知識と手技を身につけていただけると幸いです。

今回のテーマは題して「PD医療の主戦場は在宅と外来にあり」としました。多数の関係者の参加を希望します。

2018年7月

第8回PDナース研修会

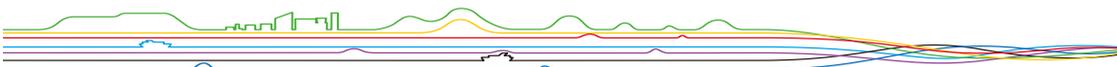
オーガナイザー 山本 光利

（医療法人 高松神経内科クリニック・高松パーキンソン病研究所）

Email:pd.takamatsu@gmail.com

事前登録 URL: <https://goo.gl/forms/y21nFU7enhfe4tnJ3>

主催者：日本パーキンソン病・運動障害疾患学会（MDSJ）



日本パーキンソン病・運動障害疾患学会（MDSJ） 第8回 PD ナース研修会

平成 30 年 9 月 8 日（土曜日） かがわ国際会議場

<http://www.symboltower.com/access/>

| | | 講師 | 座長 |
|-------------|---|----------------|-------|
| 9:30- 9:40 | 開会の挨拶 | 山本 光利 | |
| 9:40-10:00 | パーキンソン病の医療と介護の現状と課題 | 山本 光利 | 宇川 義一 |
| 10:00-10:50 | オープニングセミナー：アッヴィ合同会社 共催 パーキンソン病の理解：基礎知識（原因・症状・診断） | 波田野 琢 渡辺 宏久 | 富山 誠彦 |
| 10:50-11:15 | パーキンソン病の理解：心理・認知・精神的側面 | 長谷川一子 | 平山 正昭 |
| 11:15-11:40 | パーキンソン病の理解：生活を考える（睡眠・食事等） | 伊藤 和則 | 平山 正昭 |
| 11:40-12:05 | パーキンソン病と運動 | 市川 忠 | 平山 正昭 |
| 12:20-13:00 | ランチオンセミナー：武田薬品工業株式会社 共催 パーキンソン病の治療：薬物・外科治療 | 前田 哲也 齋木 英資 | 武田 篤 |
| 13:10-14:10 | パーキンソン病の生活処方箋：より良い生活のためのヒント 全講師 | | |
| 14:10-14:20 | 休憩 | | |
| 14:30-16:00 | 事例検討 | | |

参加費：医療関係者（ナース、介護職、薬剤師、リハビリ関係者等）3,000 円
必ず事前登録して下さい（<https://goo.gl/forms/y21nFU7enhfe4tnJ3>）

【開催事務局】

760-0027

高松市紺屋町 4-10

医療法人 高松神経内科クリニック内 オーガナイザー 山本光利

電話：087-873-2228 Fax: 087-8711-7222